

自己評価結果

令和2年度

1.本園の教育目標

・明るく伸び伸び元気よく・豊かな心を大切に・みんな仲良く手をつなごう・自分で考え自分でできる

2.本年度、重点的に取り組む目標・計画

・身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感をもつ ・社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける ・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう ・健康で安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ

3.評価項目の達成および取り組み状況

評価項目	取り組み状況
保育の計画性	園の教育課程は幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針に従い適正に編成されている。
教職員体制の充実	園長、副園長、事務長、主任、保育教諭など、配置基準を上回る職員を配置し、特別支援の体制も整っている。また保育の補助や預かり保育担当の職員も複数配置して、保育の充実に努めている。
教育環境の構成	幼児が先ず安全で安心して過ごせる環境づくりを心掛け、自由な発想で友達と遊べる自由時間と一斉保育で一つの課題に取り組む教育的時間をバランス良く構成している。
研修や研究	個々の教職員が自分の課題を把握したうえ、外部研修に計画的に参加できるような体制を整えつつ、職員のスキルアップのために毎年、テーマを決めて園内研修を行って保育の研究を進めている。

4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

園の教育方針に基づいて、幼児期の発達を踏まえた教育課程がしっかりと立てられており、無理なく計画が実施され、園児も順調に成長している様子が伺える。
教職員同士のコミュニケーションもよく取れており、よい雰囲気の中で教育、保育が行われている。また外部講師を招いての園内研修も年間で計画が立てられ、教職員のスキルアップを図ろうとする意欲が伺われる。

5.今後取り組むべき課題

職員を多めに配置して、余裕を持った教育、保育、子育て支援を出来ているが、財政的には苦しいところもあるので、経営的なバランスも考慮する必要がある。